

平成29年2月24日

東海村公共施設等総合管理計画（案）に対する意見公募手続結果

東海村公共施設等総合管理計画（案）に対する意見公募手続（パブリックコメント）を実施した結果について下記のとおり公表します。

記

1 施策等の名称

東海村公共施設等総合管理計画（案）

2 意見公募方法

公募実施を広報とうかい（12月25日号）及び村ホームページに掲載し、計画案を村ホームページに掲載するとともに、以下の村内施設17ヶ所に設置し、閲覧に供した。

- ・総務部総務課（役場行政棟3階）
- ・各コミュニティセンター（石神・村松・白方・真崎・舟石川・中丸）
- ・姉妹都市交流会館
- ・東海文化センター
- ・中央公民館
- ・総合体育館
- ・図書館
- ・東海駅コミュニティ施設
- ・総合支援センター「なごみ」
- ・総合福祉センター「絆」
- ・村民活動センター
- ・産業・情報プラザ「アイヴィル」

3 意見公募期間

平成28年12月26日から平成29年2月8日

4 意見提出者数

4名

5 意見件数

12件

6 提出意見と村の考え方

別紙のとおり

7 問合せ先

東海村総務部総務課管財・検査担当

電話：029-282-1711 内線 1386・1387 ファックス：029-287-0317

電子メール (zaimu@vill.tokai.ibaraki.jp)

番号	意見の要旨	意見に対する村の考え方
1	<p>官庁施設は国交省が全省庁の施設の保全指導・支援する情報管理システムを用いて、都道府県等地方公共団体向けにも同様のシステムがある様ですが、東海村は、インフラの維持管理システムづくりは、どう考えていますか？</p>	<p>本村も公共施設等の情報を一元管理するシステムの構築を目指します。まず、公共建築物についてデータベース化を進め、状態の把握と予防保全型の維持管理に役立つとともに、村民の皆様への情報提供を行ってまいります。</p>
2	<p>東海村は、施設が新しいので、筐子トンネルの天井板落下事故の様な事は起きないと思いますが、今後数十年先には老朽化も進みます。適切な改修時期の見定め、ライフサイクルコスト（LCC）の低減など、効率的な計画見直しには、インフラの状態や機能をより適切に評価する事がより大切になって来ると思います。</p> <p>施設モニタリング、施設寿命評価や、施設の新築を含めたファシリティマネジメントを実務で効率良く運用できる人材の育成と支援体制の整備が村の経営に必要と思います。</p>	<p>すでに30年を経過している施設もあることから、日常点検を実施し、予防保全に努めてまいります。</p> <p>ご意見のとおり、施設の評価には継続的なモニタリングや専門知識が必要となります。担当職員の意識改革や技術研修とともに民間事業者との連携も検討し、施設の安全確保、効率的な維持管理及び更新を実施できる体制づくりに努めてまいります。</p>
3	<p>村の施策の具現化の一つが施設、施設以外の色々な大切な村の活動も、屋根・壁の無い（目に見えない）インフラと思います。（目に見える）インフラだけの対策費の原則削減枠を限定しないで、トータルとして施策の実現性・効率性を考える方が自然です。</p>	<p>トータルとして施策の実現性・効率性は、総合的・計画的な村政運営の基本である「東海村第5次総合計画」により位置づけています。</p>
4	<p>説明会で千葉大の先生が紹介された仮設施設による催しの実現（LCCは少ない）や、長岡市の使う人が計画を主導する取り組みなど、見えないインフラとの境界を重ねた取り組みは施策実現の効率性が良く、住民満足度も高く、面白く、東海村でも参考になるのではと思いました。新築する場合は勿論、施設を作らない場合でも、多くの取り組み例を参考に、推進されたらと思います。</p>	<p>説明会での紹介事例では、施設ユーザーである住民の意見を取り入れ、ともに取り組むことがその後の管理運営の効率化につながっていました。村もこうした取り組みを参考に実践に向けて調査検討を進めていきたいと考えています。</p>

番号	意見の要旨	意見に対する村の考え方
5	<p>村の実態を見ますと、本計画とは相いれない方向の施策が行われ、対象施設が増える方向になっているのではないかと思います。</p> <p>最近では駅前旧リコッティの村の施設化、駅東を中心に丘を削って開発が行われています。道路を建設しています。また、建物では仮称「歴史と未来の交流館」の建設が議論されて、建設予定地にも表示があります。</p> <p>これら施設は、本計画の対象設備に入っているものもあれば、無いものもあります。少なくとも本計画の対象施設は減ることはなく、増える可能性があります。</p>	<p>本計画においては、平成27年度末現在の公共施設等の総量が対象となっています。</p> <p>5年後の見直しの際には、平成28年度以降に生じた公共施設等の増減を本計画に反映してまいります。</p>
6	<p>本計画では、施設の保全に様々な工夫をしても予算が足らず、廃止・統合を進めるという結論になっています。このような予算に問題のある中、さらに対象施設の建設を進めるといふことには矛盾を感じます。</p>	<p>本計画書第4章35項の記載のとおり、政策的に必要な公共建築物の新築・増築については、費用対効果を検討し、適正な規模により整備します。</p> <p>今後、新たに取得した施設は、5年ごとの見直しの際に公共建築物の総量に加え、更新費用の再試算を行います。そこで必要な更新費用を見定め、適切な維持管理を行えるよう本計画を見直してまいります。</p>
7	<p>人口が増えるのであれば、税収増が期待でき、納得できる場所ですが、東海村の人口は、推定では現状維持ないし若干減るようです。その原因を特定し、その維持さらに拡大を図らなければ現状の人口の維持は「まぐれ」だと言わざるを得ません。</p> <p>さらに、推定される年齢構成をみると、高齢者が多くなり、税収増の期待は少なくなりマイナス要素になっています。</p> <p>現状のこのような幸運に恵まれた環境に甘えた施策は厳に慎むべきものと考えます。</p>	<p>本計画の人口の推移については、「東海村人口ビジョン」を根拠としており、現状の合計特殊出生率と転入超過が継続することを前提としています。</p> <p>村では、人口ビジョンの推計を超える人口減少に歯止めをかけるため、「東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立に取り組んでいるところです。</p> <p>しかし、現時点の推計では着実に少子高齢化が進行することが予想されるため、本計画では、限られた財源の中で公共施設等の有効な管理手法を選択するための方針を掲げております。</p>

番号	意見の要旨	意見に対する村の考え方
8	<p>この計画は、国から事故防止対策として指示があり、策定したのでしょうか。今後の財政の分析結果は正確な予測なのか疑問です。</p> <p>「命と金」つまり、公共施設等の安全上の問題と将来的な費用負担ををどのように捉えてこの計画は策定されたのでしょうか。</p>	<p>本計画は、総務省が平成26年4月に地方公共団体に対して行った要請により策定を始めました。公共施設等の現況については「東海村公共施設等白書」、人口については「東海村人口ビジョン」、財政については、過去20年の実績値と「東海村中期財政見通し(H27-H31)」をもとに分析を行い、今後30年間で必要となる更新費用を試算し、安全確保を始めとした公共施設等の適切な維持管理と更新費用の捻出のための基本方針を掲げました。</p>
9	<p>パブリックコメントを求めたのにフォーラムは2/5、締切は2/8、村民に考える情報を与えるのが知識の少ない村民には遅く感じます。</p>	<p>ご指摘のとおり、パブリックコメントとフォーラムによる意見及び参加者増加といった相乗効果を生む日程ではありませんでした。今後の改善点とさせていただきます。</p>
10	<p>「歴史と未来の交流館」がこの計画の中に反映されていないのは、将来の分析ができていないのか疑問を抱かせます。</p>	<p>本計画の公共施設等に必要となる更新費用は、平成27年度末現在の公共施設等の総量で試算しています。</p> <p>平成28年度以降に取得する公共施設等については、5年後の見直しの際に総量に加え、更新費用の試算等計画に反映していきます。</p>
11	<p>この将来村の運営管理に関わるこの計画は、村民にとって重要であると思います。そのため、計画書が分かり易い内容になったら素晴らしいと思います。</p> <p>村も、この計画について十分な検討を行っている村民にアピールできるものとして作成していただきたいと思います。</p>	<p>本計画の推進に伴う情報公開の際には、計画情報を分かりやすく発信できるように努めます。</p> <p>また、庁内の検討結果やアンケート結果といった推進に関する過程も積極的に公開し、村民の皆様との情報共有を図ってまいります。</p>
12	<p>公共施設の放射線防護対策を。</p>	<p>本計画における公共建築物の大規模改修、更新は、建築物の長寿命化と建て替えを想定しております。ご意見にあります、施設の放射線防護対策の改修は本計画には含まれておりません。</p> <p>なお、村は国の補助金を原資とした茨城県の原子力災害対策事業費補助金を活用し、平成27年度に総合福祉センター絆、村立東海病院、平成28年度に役場庁舎について原子力災害対策整備工事を行い、放射線防護対策を行っております。</p>